

有福温泉周辺整備計画とは？



新しいバイパスの整備により、温泉街の玄関口が一新されることとなり、来訪者へのおもてなしの心を表現し、温かく迎え入れるような道路整備が求められています。

有福温泉周辺整備計画では、こうした状況をふまえ主要テーマとデザインの柱を定め、それに沿った周辺整備を提案しています。

…つまり、
どういうこと？



有福らしくて、お客さんにも有福温泉良いところだなーって感じてもらえるような周辺整備を考えます、ってことかな？

【主要テーマ】

伝統ある温泉の風情と品格にふさわしい周辺整備

【デザインの柱】

街中で見かける自然素材や色を使い、昔ながらの有福の景観と統一感を持たせる

【主な整備計画】

- ・石見焼をイメージした新設橋の整備
- ・アプローチ空間※1としての道路整備
- ・旧道残地※2の活用

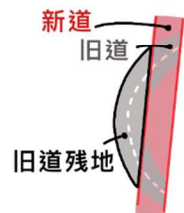
用語解説コーナー

アプローチ空間※1

“アプローチ”は近づく、働きかけるなどの意味もありますが、ここでは温泉街の入口までを演出するみちや空間のことです。

旧道残地※2

新しい道ができる前からある古い（元々あった）道が旧道。旧道残地は右の絵のような場所のこと。



有福温泉 「美人の湯」

一万年の時を超えこんこんと湧く

- ・有福温泉の13の泉源はすべて自然湧出
- ・保湿効果の高いアルカリ性単純温泉
- ・温泉水の年代は11,600年～9,500年前
- ・湧き出る温泉はちょうど入浴に適した温度
- ・温泉は旅館や外湯で楽しめます
レトロでそれぞれ趣のある浴場です

確かにお肌が
しっとりする
感じがする！

